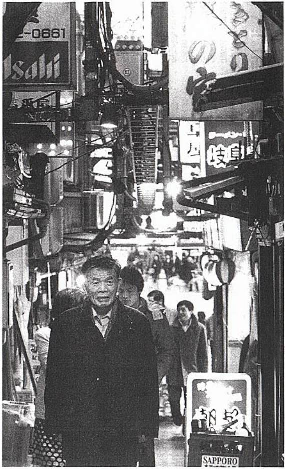
人生は夕方から楽しくなる

寄り添い歩いた戦後経済の道

「路地裏」のエコノミスト　竹内宏さん



「ごぶさたしていても、やっぱり路地裏は

焼き鳥のにおいと煙がたちこめる。竹内宏さん(78)にとっては、近くに住んでいながらごぶさたしている東京の路地裏だ。「もう年ですから。それに東京は変わりましたし」。でも月1～2回は行く静岡では、相変わらず路地裏通いは続いている。「同級生がやっているお店があったりしてね」

当たり作になった「路地裏の経済学」（79年）は、路地裏の飲み屋を書いたものではない。当時庶民の娯楽の王様だったパチンコを、おそらく初めて産業として取り上げたものだった。

「エコノミストとして生き残るために、〝穴〟をねらったんですよ。アハハ」

路地裏にこだわった理由はそれだけではなかった。

「（旧制）中学の1番だった同級生は、のこぎりの歯の目立てを仕事にしました。ボクよりよくできた同級生の多くが、大学には行かずに町工場で働いたり、農家を継いだり。でも、彼らが戦後日本経済の高度成長を支えてきたんです。そんな路地裏で黙々と働く人たちの生活を調べたかった。パチンコもそんな人たちが従事する産業でした」

戦後、企業に長期資金を融資する国策銀行として設立された日本長期信用銀行（長銀、現新生銀行）に入行したのが1954年。同行の2期生だ。初任給1万2000円、就職すれば、本物のアイスクリームが食べられると喜んだ時代だった。

4年目に調査部に配属されて、以後ずっと、エコノミストの道を歩んできた。竹内さんの経歴はそのまま、長銀の歴史でもあり、戦後日本経済の軌跡にも重なっている。

それらを絡み合わせながら、長銀調査部と後身の長銀総研の歴史をたどった「エコノミストたちの栄光と挫折」（東洋経済新報社）を先日、出版した。サブタイトルに「路地裏の経済学　最終章」とある。

「ボクが路地裏でスポットをあてたいと思った人たちは、もういなくなりましたから」

いま、米国の金融危機で投資銀行が次々と破綻したり、商業銀行に衣替えしたりしている。米国の投資銀行とは、預金を集めない、いわば法人向け証券会社のような存在だ。その投資銀行のビジネスモデルが終わったといわれているのである。

こうした米国の現状をみるにつけ、竹内さんの胸にはある感慨がわき起こってくる。

日本では高度成長が終わった80年代。すでに企業は長期信用銀行の融資を必要としなくなっていた。そこで長銀が目指したのが、投資銀行への転換だった。しかし当時の規制の壁は厚く、実現しなかった。その代わりにと、長銀は不動産融資にのめり込み、バブル崩壊で不良債権を抱え込む。結局、98年に経営破綻して一時国有化され、のちに外資に売却された。

「あのとき、もし投資銀行になっていたとしたら……。バカみたいな話ですよね」。しょせん結末は同じだったとしたら、苦笑するしかない。

半世紀を超えるエコノミスト生活を振り返って思うところは多い。

「高度成長の日本は、やっぱり思春期でしたね。大人に追いつくことに必死になっていた。70年代半ばになって、その気概がなくなり、逆に考えがセコくなった気がします。80年代以降は、今度は身も心も市場経済に染まって、米国のマネをしようと懸命になりました。やっと英語が理解できるようになっただけのところで、いま世界的に米国化に対する反省が出てきています。いったい日本は何をしてきたのでしょうね」

ところで、久しぶりに東京の路地裏を歩いた感想は？

「国際的になりましたね」

写真を撮った、すぐ脇の焼き鳥屋の小さな屋台で、
な白人2人が身を縮こめ
うにして、お酒をチビチ
っていた。
「日本人で英語をしゃ
ヤツが増えたけれど、外
が日本人化することも国
ですよね。なんだか心
りましたね」
【西

たけうち・ひろし　1930年生まれ。静岡県清水市（現静岡市）で育つ。東大経済学部卒業後、長銀に入行。長銀総合研究所理事長などを経て、竹内経済工房を主宰。

坂崎重盛

東京 下町の方言を露呈、その下町 百花園へ

前回の、この欄で、私の東京下町方言が抜けなくて、〝ひ〟と〝し〟がごっちゃになってしまうことを書き『〝しつこい〟は正しくは〝ひつこい〟』と書いたら、すぐに編集部に数通のメールが寄せられた。

「〝しつこい〟が正しい。（筆者の）〝ひつこい〟が正しいとする根拠は」あるいは「筆者は間違って記憶しているのでは」というご指摘でした。

まさに、おっしゃる通りでした。私の完全な思い違い、ミスです。しかも今まで、ずっとそう思い込んでいました。

〝ひ〟と〝し〟の区別ができない下町方言をモロに露呈することと
てしまいました。失
ました。ご注意、あ
とうございました。
さて、その下町関
のですが、3日前、
の青空の下、この秋
めて向島百花園へ行
きました。
ちょっとした寄り
があったのですが、
の萩のトンネルもす
に、細い枯れ枝ばか
へちま棚にはしなび
ちまが3本、のんび
ぶら下がっていまし
しかし、いいですね
花園は、この時期も。
々は紅葉し、草々も
散りさまざまな形の
見ることができまし
隅田川のほとり、大